

言語聴覚士主催 リハビリテーション科合同学習会

2016年2月19日にリハビリ科合同学習会が開催され、STが中心となり嚥下障害者体験と嚥下内視鏡検査の動画上映を行いました。食べにくい姿勢でゼリーを摂取する体験を実際に行ってみて、PT・OTからも食事時の姿勢調整の重要性がわかったとの感想がありました。リハビリ科全体で嚥下障害についての知識を深める良い機会になったと思います。



3年目スタッフの様子



【3年目 PT（理学療法士）】

あおもり協立病院で2年間働いてみて、最も変わった点は患者さんの生活のことを考えられるようになったことだと思います。入職当初は、目の前の患者さんの治療の事で精いっぱい、患者さんの退院後の生活の事まで十分に考える余裕がありませんでした。しかし、2年弱の臨床経験や諸先輩方のアドバイスなどを少しずつ吸収することで、患者さんの生活背景を考慮に入れたリハビリが出来るようになってきたと感じています。

リハビリの仕事はリハビリ室内で完了するものではなく、患者さんのご家族との情報共有や家屋調査など退院後の環境調整なども含めた仕事であるという事を改めて実務経験の中で実感することができました。

とくに当院では、班会や地域行動など組合員の方々と接する機会が多く、病院外の生活について考えさせられることが多く、濃密な経験が出来たと思います。

今後も患者さんにとって充実した退院後の生活を送れるように、自分自身を高めていきたいと思っています。

【3年目 OT（作業療法士）】

人見知りの私ですが、気楽に患者様、リハビリスタッフとお話しできています。和気あいあいとした環境だからこそ、仕事が多くて大変な時も笑顔が多い、そんな職場だからこそ、私自身人として成長できているのかなと思っています。とても楽しく仕事をしています。